

# Report

## 2017

北上信用金庫 平成28年度

# 総力発揮!!

～成長と安定のバランス経営を目指して～

2015

北上市地域貢献活動認証企業



当金庫は平成28年3月、第8回北上市地域貢献活動企業功績賞を受賞いたしました。同賞は地域貢献活動を通じ、まちの課題解決や活性化に取り組み、市民・企業・行政の協働によるまちづくりに寄与していると認められた企業に北上市と市協働推進市民会議から贈られるものです。

# 見えしんきん

北上信用金庫のミニディスクロージャー

## ◆信用金庫とは

信用金庫は、中小企業や地元の方々を会員とする協同組織形態の金融機関で、地域の中小企業の経営や住民の生活に役に立つ金融商品や金融サービスの提供に努めています。

協同組織金融機関は、会員の相互扶助を基本理念とする非営利法人で、信用金庫は、融資については原則として会員に限定されていますが、その他の業務については、預金、為替、公共料金などの金銭収納、保険の窓販等、一般の銀行とほとんど変わらない金融機能を備え、会員はもとより、会員以外の方とも広く取り入れています。

## ◆経営理念

地域金融機関として

「中小企業の健全な発展」「住民生活の向上」

「地域社会の繁栄」の実現に貢献する

# KITAKAMI SHINKIN BANK

この街と生きていく。



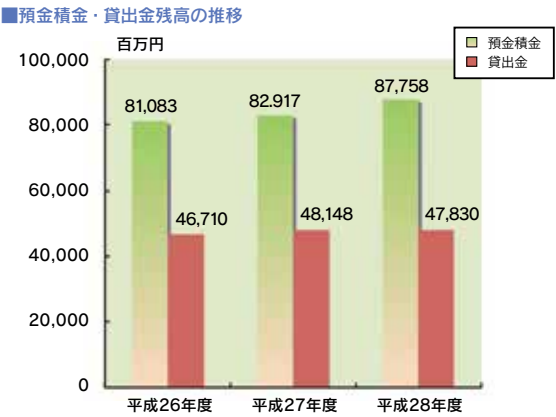
## 北上信用金庫

# 業績のご案内

## ◆ 預金積金及び貸出金の状況

■ 預金の状況  
平成29年3月期の預金積金残高は、前期比4,841百万円増加の87,758百万円となりました。  
預金積金残高のうち個人預金が73.6%を占めております。

■ 貸出金の状況  
平成29年3月期の貸出金残高は、前期比317百万円減少の47,830百万円となりました。  
また、特定先や特定の業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

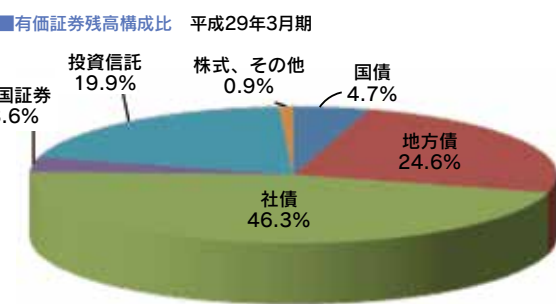


## ◆ 損益の状況



## ◆ 有価証券の時価情報

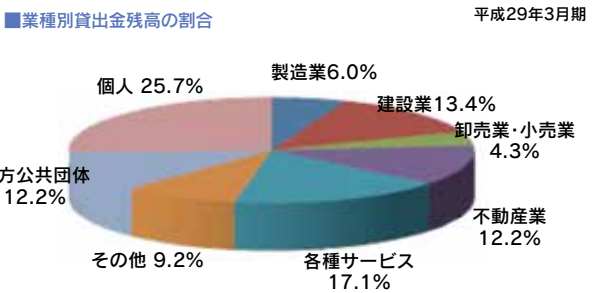
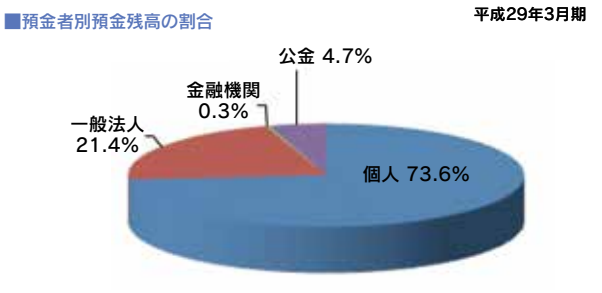
お客様からお預かりしております預金積金は貸出金のほか、有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債をはじめ、公社債等で運用しております。



■ 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式  
該当ございません。

■ 売買目的有価証券  
該当ございません。

地元のお客さまよりお預入れいただいた大切なご預金は地元で事業を営む事業者や個人のお客さまにご融資することで、地域社会に還元しております。



## 安定した収益の確保に努めております。

本業の利益を示す業務純益は311百万円となったほか、経常利益は184百万円、当期純利益は167百万円を計上しました。  
地元の事業者や個人のお客さまの資金需要にお応えするとともに、各種リスク管理を徹底し、今後も安定的な収益確保に取り組んでまいります。

※「業務純益」とは、金融機関の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金や為替業務等金融機関本来の業務から生まれた利益です。  
※「経常利益」とは、業務純益に貸出金償却、貸倒引当金繰入額等の臨時損益を加減したものです。  
※「当期純利益」とは、経常利益に特別損益を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

## 市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

■ 満期保有目的の債券 (単位: 百万円)

	平成28年度			
	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	1,741	109	114	5

1) 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。  
2) 時価は、29年3月末における市場価格等に基づいております。

■ その他有価証券 (単位: 百万円)

	平成28年度			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	17,473	364	634	269
株式	93	6	8	1
債券	13,087	412	529	116
その他	4,291	△54	96	151

1) 貸借対照表計上額は、29年3月末における市場価格等に基づいております。  
2) 上記の「その他」は、信金中央金庫の優先出資証券、投資信託及び外国証券です。  
3) 「評価差額」は取得原価(償却原価)と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

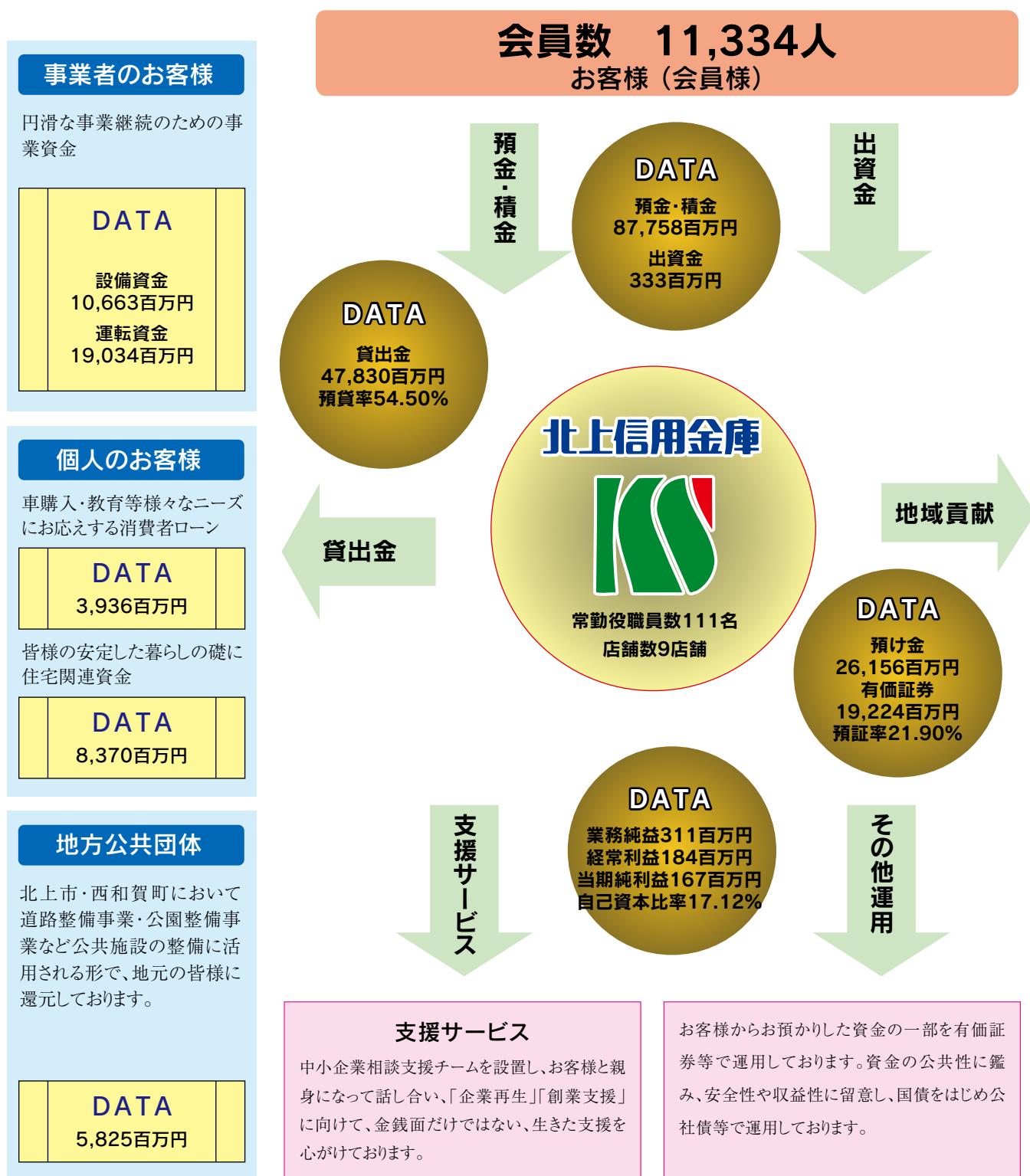
■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券 (単位: 百万円)

	平成28年度	
	貸借対照表計上額	
その他有価証券 非上場株式	9	

# 北上信用金庫と地域社会 ～地域社会の発展と活性化をめざして～

## ◆ 当金庫の地域経済活性化への取組み

当金庫は、北上市、西和賀町を重点事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助の金融機関で、地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金・積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民と強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供に止まらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



※データはすべて、平成29年3月末現在のものです。



# 地域社会の一員として

地域社会の一員としてさまざまな活動を展開しております。

◆ 地域社会とのふれあい ～これからも地域の行事等へ積極的に参加・協力し、地域に貢献してまいります～



◆ 北上みちのく芸能まつり市民パレード



◆ 第14回 北上信用金庫杯少年サッカー大会



◆ 第23回 きたしん文化講演会



◆ 第16回 北上信用金庫杯ソフトテニス大会



◆ 岩手国体・いわて大会2016



◆ 当金庫野球部による野球教室  
(平成28年度は北上市・西和賀町の各地区において計6回開催)



◆ よい子のお絵かき大会 (東北・夢の桜街道 桜の絵画展)



◆ 北上市・西和賀町の中学生へ啓発図書贈呈

きたしん会(きたしん会・信和会・西和賀しんきんクラブ・北上駅前しんきん友の会)・はばたきの会・ほほえみの会・きたしん健康友の会等を組織して、ゴルフ大会、ゲートボール大会、親睦旅行など様々なイベントを開催しております。

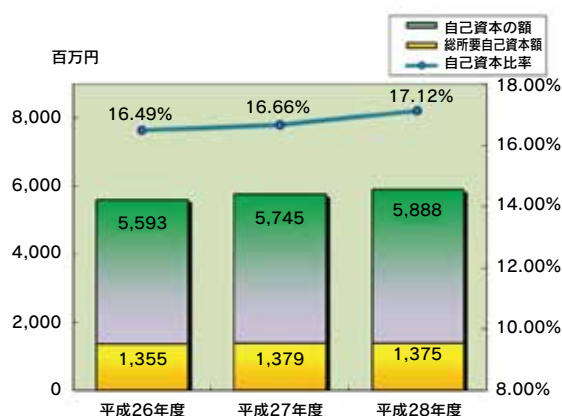
# 自己資本の充実の状況等について

## ◆ 自己資本の充実の状況

自己資本比率とは、信用金庫の経営状況を把握する重要な指標です。自己資本比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定しているといえます。

当金庫の平成29年3月期の自己資本比率は17.12%で、国内基準4%の4倍超、これだけでなく都市銀行など海外で営業している金融機関の基準値(国際基準)8%をも優に超えた高い水準を維持し、十分な健全性を確保しており、皆様に安心してお取引いただける経営内容となっております。

### ■ 自己資本額・総所要自己資本額・自己資本比率の推移



## 体力には自信があります。

### ■ 自己資本に関する事項

(単位: 百万円)

項 目	平成27年度	平成28年度
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	5,764	5,966
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	18	78
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	5,745	5,888
リスク・アセット等の合計額 (ニ)	34,481	34,375
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	16.66%	17.12%
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,270	1,269
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	109	105
単体総所要自己資本の額	1,379	1,375

(注)「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

※「コア資本」とは、会員の皆様からお預かりしている出資金や、一般貸倒引当金などが該当します。

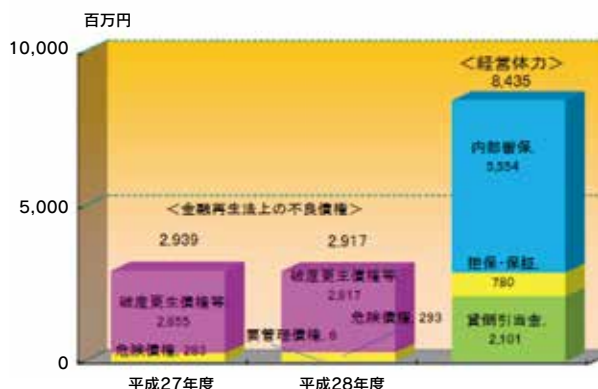
※「リスクアセット」とは、オンバランス・オフバランスの各資産項目にリスク・ウェイト(資産ごとにリスクの度合によって定められた掛目)を乗じて算出した額で、自己資本比率の分母になります。

※「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務の過程、役職員の活動、もしくはシステムが不適切である事などにより損失を被るリスクのことです。当金庫では基礎的手法を採用して算出しております。

※「総所要自己資本の額」とは、自己資本比率分母の額に4%を乗じて算出した額のことです。

## ◆ 金融再生法ベースの債務者区分による開示

### ■ 金融再生法上の不良債権と経営体力



## 資産の健全性向上を図っております。

当金庫の金融再生法開示による不良債権は、前期比21百万円減少しました。また、不良債権比率は前年度と同様の6.09%となりました。

これらの不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により98.77%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力8,435百万円によりカバーされております。

※金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。

※平成29年3月末時点で実施した自己査定に基づき、金融再生法ベースで開示しております。

※「破産更生債権等」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

※「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

※「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

## ◆ 貸付の条件の変更等の実施状況(平成21年12月4日から平成29年3月末までの累積実績です)

〔中小企業のお客様向けの貸付債権〕

(単位: 件)

	件 数
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	1,438
うち、実行に係る貸付債権	1,293
うち、謝絶に係る貸付債権	99
うち、審査中の貸付債権	3
うち、取下げに係る貸付債権	43

〔住宅資金お借入のお客様向けの貸付債権〕

(単位: 件)

	件 数
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	52
うち、実行に係る貸付債権	41
うち、謝絶に係る貸付債権	5
うち、審査中の貸付債権	0
うち、取下げに係る貸付債権	6



# 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

◆ 北上信用金庫の地域貢献活動(平成28年4月～平成29年3月)



平成22年より「きたしん次世代経営塾」を開催し、若手経営者、次世代後継者の育成支援に取組んでおります。



平成27年10月から北上市の創業支援事業計画に基づき、当金庫・北上市・北上商工会議所が連携して「地域起業家育成塾」を開講し、創業・企業支援を行い新たな雇用創出による地域活性化に取組んでおります。



独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部、東北経済連合会東経連ビジネスセンターと共に、地域の中小企業支援を強化するための調査事業「ステップ・ゼロからの支援プロジェクト」を立ち上げました。  
金融機関等の認定支援機関や大学、地域の支援機関等が連携し、支援の必要な中小企業を発掘するとともに、地域中小企業の課題と解決に至るプロセスを共有していくプロジェクトです。



平成28年11月、金ケ崎町との「地域経済活性化に向けた包括連携協定」を締結しました。



西和賀町地域支援事業として、西和賀町デザインプロジェクト「ユキノチカラ」を立ち上げております。同プロジェクトは、当金庫、西和賀町、西和賀町事業者、岩手県内デザイナー、信金中央金庫、岩手県工業技術センター、日本デザイン振興会が連携し、地域資源を活用した魅力ある商品・サービスを作りだし、情報発信、人材育成等を進めている取組みです。



地域の次世代を担う子ども達への金融教育実施の一環として「鬼っジョブ～北上おしごとパーク～ 2016」に市内金融機関として唯一出店し、市内の小学生に対して窓口業務及びお札の数え方等の体験を実施しました。

地元とともに

 **北上信用金庫**

〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目5番30号  
TEL 0197-63-2307 (代)  
ホームページアドレス <http://e-shinkin.net>